

## 昭和35年、 浅草の象徴との 浅からぬ縁。

浅草寺「雷門」。いまでは世界的に知られる建造物が、つい60年ほど前まではなかったことをご存じでしょうか。そして、その建立には、実は創業者松下幸之助と浅からぬ縁がありました。

もともと雷門は、大変歴史のある門で、歌川広重などの錦絵の題材に用いられたりしていましたが、慶応元年(1865年)の火事で焼け落ちて以来、時折、仮設の門でご開帳の時に設置されたりするだけで、約100年本格的な再建はされませんでした。それは浅草に住む人々にとって寂しいことであつたようで、何度も再建の話は出ましたが、なかなか実現できない状況が続いていました。そんな折、松下幸之助のもとへ浅草寺の貫首、清水谷恭順大僧正が訪ねてこられて、浅草の声を届けてくださいました。「雷門を建ててください」。大僧正とは、以前、神経痛を患った時に祈願していただき、平癒した時からのご縁。松下幸之助はしばし黙考したのちに言いました。「寄進させていただきます」。こうして昭和34年に再建工事が開始。地元の方々のさまざまなご協力のもと一年後に門が完成すると、松下幸之助は「幸い、立派な雷門ができて、東京の人々にも喜ばれているようです」と嬉しそうに社員に伝えました。時は流れ、浅草というより、いまや東京の象徴となった雷門。今日も、日本各地からの参拝者や世界中から訪れる多くの旅行者であふれています。

大正7年の創業以来、私たちがここまで歩んでこられたことは、みなさまのご愛顧とご信頼の賜物と心より感謝申し上げます。これからも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

おかげさまで、  
パナソニックは  
創業100周年を  
迎えました。



雷門落慶式でテープカットを行う松下幸之助。大提灯には現在も松下電器の名が刻まれている。

# Panasonic

松下幸之助の思いを、次の100年へ。

## パナソニック ミュージアム

本日開館

〒571-8501 大阪府門真市大字門真 1006 番地  
開館時間 / 9:00 ~ 17:00 ※開館時間は変更になる場合があります。  
休館日 / 日曜日、年末年始 入場料 / 無料

